

隠岐空港・航路対策特別委員会

委員長 藤田千鶴

委員会は議会会期中に担当課の観光工課長と補佐に出席を求め、隠岐空港・隠岐航路の利用状況及び取り組み等について意見交換を行った。

隠岐空港の利用促進

*ジェット機搭乗率

七月が70・6%、八月は87・3%、平均、81・5%と目標を達成。

*ジェット機就航率

98便中6便が欠航し、H十八年97・4%、H十九年93・9%と昨年に比べ△3・5%であり、欠航の理由は台風が4便、天候不良2便である。JALでは早急に対応し、十月より有視界飛行の見直しを開始している。当委員会では状況を見ていきたい。

*個人と団体の比率は

H十八年個人38%、団体62%に対し、H十九年個人49・2%、団

体50・8%と個人客の利用が増加し、それに伴い一人あたりの平均単価もH十八年11、939円からH十九年13、285円に増加している。

来年度の運航は決定ではないが前向きに検討がされた集客戦略が必要。十一月現在の利用状況

は大阪便が旅客数29、324人、搭乗率68・4%、出雲便は旅客数8、829人、搭乗率52・9%であり、高速船減船の為か昨年より1・9%上がっているが、支援費は来年度大幅に減額される事が予想される。関係機関と強力な連携のもと誘客体制を整えるべきである。

隠岐航路関係

隠岐汽船は再生計画に基づいて経営改善がされつつあり、乗客数計画

達成率は九月までのデータで高速船は114・2%、フェリーでは96・4%。車両台数計画達成率は103%だが、どちらも災害関係の利用がかわつていように思われる。減船により観光客の利用も減っているようだ。

高速船は2年間の猶予しか残されておらず、隠岐の生活路線、産業振興において早急に検討すべき最重要課題である。当委員会でも積極的に取り組むべきと言う意見が多く、今後速やかに調査・研究に努めたい。

観光大使の取り組みは関東・関西にむけて意見交換・アンケート調査を実施済みであり、まとめ次第、参考資料として各関係機関と連携を図り、委員会からも指摘を受けていた隠岐の観光振興の原点を考えるべき検討をしていくとの事である。貴重な意見が役立つ機会が多く開かれることを期待する。

報酬・定数調査特別委員会報告

委員長 池田信博

H21年4月選挙から適用 議員定数 22名が16名に

当委員会は、議会議員の報酬・定数について調査研究し、定数については十九年中に削減数を定めることで協議を重ねてきた。

隠岐の島町行財政改革実施計画では職員数を十七年から5年間で340人から292人にするとしている。

の対応が必要で、行革を進める中で人件費の抑制は避けて通ることはできない問題であり、「議会の率先垂範」は不可欠であるとの意見が一致した。

これらを総合的に判断して、本委員会は、出席者の全会一致で、議員の定数を「16人」とし、二十一年四月に行われる選挙から適用することとした。

議員数については中国地方の町村の状況等を調査し、本町と比較検討すると共に町民の意見等も参考にした。また、本町を取り巻く深刻な財政状況により、住民に対してあらゆる負担の増加は免れない状況になると思われることから、行財政改革を進める中、職員に対しては、早期退職者を募るなど厳しい取り組みを行っており、議会も同様

議員報酬については、議会活動が充実出来る環境の構築、定数減等を総合的に判断し増額を検討する。



隠岐航路フェリー



隠岐島町村議会議員研修会

平成十九年十月二十九日
 レインボープラザに隠岐島4町村議会議員、事務局員53名が集まり議員研修会が開催された。

その目的は地方分権の推進に伴い地方自治体には財政の健全化への対応、行政能力の向上、少子高齢化の急速な進展への対策等々、課題は山積みしており、町村議会の果たすべき役割は従来にも増して重要になってい

る。このような中で住民の負託に応えるよう議員の職務遂行に必要な知識と精神を習得し、もって議会活動の進展に寄与するということである。

島根県町村議会議員事務局の清山英晴氏を講師に「議会の運営」について話をしていた。

その内容は、議会の運営について議員一人一人が具体的に、またその法的根拠について知っておく必要があるということ、地方自治法

(標準)会議規則など、たくさん資料を見ながらの勉強会となったので、すべてを理解できたか言われると疑問符が付く。

平成十八年の地方自治法の改正により臨時会を議長が請求できるようになった。また、議員は複数の

委員会に所属できるようになった。他の改正点も含めて議会の存在感は高まる方向にあるが、それにも増して議員一人一人の責任も問われている。

島根県町村議会議員研修会

翌三十日には島根県内の議員を対象にした研修会が開催された。午前中は元自治省大臣官房審議官で(社)政府資料等普及調査会理事仁科秀麻呂氏の「地方行政の改革と町村議会議員の皆様に期待すること」という講演であった。国レベルで

の地方分権市町村合併、行財政改革特殊法人等の改革郵政民営化など、三位一体の改革などについて説明を受けた。

午後はTVでもおなじみの政治評論家有馬晴海氏の「福田新政権の課題と展望」舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」の講演があった。

(文責 斎藤幸広)



研修風景

竹島を考える会

※2月22日、竹島の日に向け、先般募集した竹島標語の入選者の皆様に、感謝状贈呈について話し合う。

※国土地理院が12月1日に刊行する地形図に竹島の詳細な図が掲載される。



11月17日開催された
 余芸大会に参加。

住民の皆様に
 楽しんでいただけたと
 勝手に満足しています。

謹賀新年



請願・陳情等審査結果表 (平成19年第4回 隠岐の島町議会定例会)

番号	件名要旨	提出者	委員会における審査結果
陳情第6号	・八田集会所改築についての陳情書	隠岐の島町八田区長 尾崎 和男 他6名	採 択
請願第2号	・八尾川中小河川改修事業等の早期完了について	原田区長 山下 康弘	採 択
陳情第9号	・健康でよい歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情書	島根県保険医協会 会長 古沢 正治	継 続
陳情第10号	・森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書採択についての陳情書	島根森林管理署 分会 執行委員長 深田 浩嗣	継 続
陳情第11号	・後期高齢者医療制度の抜本的見直しに関する陳情書	島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	継 続
請願第3号	・悪質商法被害を助長するクレジット被害を防止するための割賦販売法の抜本的改正に関する請願書	隠岐地区労働者福祉協議会 会長 平田 芳春	採 択

議員提案

道路整備の財源確保に関する意見書
割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

隠岐の島町の施策課題に対応するための決議

隠岐の島町議会の議員の定数条例

編集後記

親が子を、子が親を殺す、友達さえも。誰でも良かったという通り魔殺人。なんと悲しい恐ろしい事件の多いことか。人と人の絆、社会との絆、その絆が薄れたためとも言われている。

私たちの島は古きより人情の島と歌われている。皆が互いの絆を大切に、目上の人を敬い、互いに思いやりの心で支えあつて暮らしている島であり続けるために、よき伝統と文化を守ってゆかねばなるまい。合併後の町政もまだまだ課題が多い。議会も責任重大である。

新しい年も本誌を通じて開かれた議会の様子を皆様にお伝えすべく、より良い紙面づくりに励みたい。

(文責 遠藤)